
おつかれさまノムさん

野鶴善明

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おつかれさまノムさん

【Nコード】

N4091I

【作者名】

野鶴善明

【あらすじ】

楽天イーグルスが負けてしまった。日本シリーズに出場して、野村監督最後の日本シリーズを見せてほしかったのに、残念。

楽天イーグルスが日本ハムに敗れてしまった。

「経験の差が出たらいやだな」

とノムさんはクライマックスシリーズの前に語っていたけど、日本ハム戦ではその経験の差がもろに出てしまったみたい。

第一戦で逆転サヨナラ満塁ホームランを打たれて負けたのが痛かったなあ。あれがすべてだった。あのゲームはソフトバンク戦の勢いをそのままもちこんで、いい感じで勝っていたんだけど……。九回の裏に登場した楽天の福盛投手は、大舞台での経験がないから緊張のあまり調子が狂ってしまったのだろう。満塁で日本ハムの五番スレッジをむかえた場面では、点差にまだ余裕があったわけだし、押し出しフォアボールになってもいいから、ストライクくさいボール球を投げて空振りさせるか、引っかけさせてゴロで打ち取る手もあったと思うんだけどなあ。第一戦であのまま勝っていたら、勢いによって日本シリーズに出られたかもしれないのに、残念。第三戦でマー君が力投して一つ勝ってくれたのが、せめてもの救いだった。やっぱり、日本ハムのほうが経験豊富でずっと上手^{うわて}だったかな。

でも、ノムさんも、楽天のナインもよくがんばったと思う。暗黒時代の阪神タイガースより弱かったチームがクライマックスシリーズの決勝戦に出場できるようになったのだから、ほんとに強くなった。これでノムさんは楽天のユニホームを脱ぐことになる。どこかよそのプロ野球チームで監督をしてほしいけど、歳が歳だからノムさんに監督を頼むところはないだろう。ユニホーム姿も、知恵をふりしぼった采配も、もう見られない。毒とユーモアと喜怒哀楽がたっぷりつまったばやきも、もう聞くことができない。さびしい。

おつかれさま、ノムさん。

ゆっくり休んでください。

夢をありがとう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4091i/>

おつかれさまノムさん

2010年10月20日19時56分発行